

たいせつな はなし
とても大切なお話 (2)

しきつしようがつこう
敷津小学校

こうちよう はら まさし
校長 原 雅史



まず1つ目は自分の命を守ってください。もちろん、お家の人のやまわりの大人は、あなたのことを大切に、命を守ってくれていますが、何よりあなた自身が、自分の命は自分で守るという意しきをもつことが大切です。そのためには、用事のないかぎり、できるだけ外に出歩かないことが大切です。なぜ、出歩いてはいけないのでしょうか。

今回のコロナウイルスは、この病気にかかるても、ねつが出ないなど、ほとんど身体にへん化が起こらない人（自かくじょうじょうがないと人といいます）が、たくさんいます。自分がコロナウイルスにかかっているとわからない人が、実はまちのなかにいるということです。

すると、みなさんが用事もないのに家の外を歩いてしまうと、知らないうちにコロナウイルスをすいこんでしまうということがおこるかもしれません。だから、できるだけ外にでてはいけないです。まずはこれをしっかりと守ってください。ひとりでも

多くの人間が家でじっとしていると、このコロナウイルスは広がることができずほろんでいきます。

ただし、それ以外もあります。1つはお家の人がはたらきに行くなどの理由で、家にいることができない場合です。このような場合はどうぞ学校の「子どもあずかり度」や「いきいき事業」を用いてください。

もうひとつはてき度な運動もひつようです。だれかといっしょに遊んだり、おにごっこしたりするのではダメですが、お家のひとといっしょにさん歩をしたりジョギングをしたりすることはOKです。むずしいかもしれませんのが、できるだけ他の人と出会いないように、時間と場所をえらんで、お家のひとと外でてき度な運動もしてください。

おねがいの2つ目は、家でしっかり勉強してくださいということです。（次回に続きます）